



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「日本原子力学会シンポジウム」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内
「東京電力福島第一原子力発電所事故後の環境回復の取り組み」
－除染の現状と低線量被ばくについて－

日本原子力学会は、福島県と共同で「除染推進に向けた地域対話フォーラム」を開催し、福島県民の皆さまの放射能や除染に関する疑問にお答えする活動を行ってきました。また、「福島特別プロジェクト」を学会に設置し、除染活動支援のため「除染情報プラザ」への放射線や除染の専門家の派遣やシンポジウムの開催など、福島県に密着した活動を行っています。

また、震災後3年が経とうとしております。住民の皆さまの要望もさまざまな分野にわたるものとなって来ており、学会としては、皆さま自身の価値判断をサポートできるような情報提供なども行っていきたいと考えています。

本シンポジウムは、福島の除染がどのように進んでいるか、福島の住民の皆さまのご関心のある低線量被ばくについてなど環境の回復や長期予測などについてご講演いただきます。

日時:平成26年1月19日(日) 13:00～17:00

場所:コラッセふくしま 多目的ホール(福島市) <http://www.corasse.com/category/access>

主催:日本原子力学会

共催:福島県

後援:環境省福島環境再生事務所

協力:除染情報プラザ

参加費:無料

プログラム:

13:00～13:10	開会挨拶	
13:10～13:55	除染の状況報告	小沢 晴司(環境省福島環境再生本部)
13:55～14:40	Csの土壤中の挙動および構造と廃棄物処理	三倉 通孝(クリーンアップ分科会(株)東芝)
14:40～15:00	休憩	
15:00～15:45	放射線モニタリングと健康影響	竹安 正則((独)日本原子力研究開発機構)
15:45～16:30	福島第一原子力発電所の状況報告	山下 和彦(東京電力(株))
16:30～16:50	福島県の取り組み	遠藤 浩三(福島県除染対策課)
16:50～17:00	閉会挨拶	

本シンポジウムの取材申し込みについて

1月16日(木)までに <http://www.aesj.or.jp/fsp symp/form.shtml> またはFax03-3581-6128にてお申し込みください。なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。